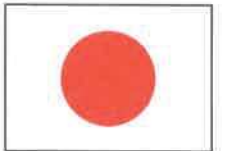




発行所 一般社団法人 岐阜県自動車会議所 岐阜市日置江2648番地の2 電話(058)279-3701 毎月20日発行

賀正 2018



新年のご挨拶

年頭の辞

中部運輸局岐阜運輸支局長 古屋勝治



新年明けましておめでとうございます。平成30年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人岐阜県自動車会議所及び会員の皆様には、平素から国土交通行政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

中部運輸局管内の東海地区においては、日本銀行の地域経済報告が10年ぶりの高水準に達するなど、各種景気判断も改善が続いており、観光や物流などの側面で景気の下支えに貢献したいと考えております。

その景気の下支えには、人流・物流を含めたシームレスな輸送、高度な観光サービスの提供に必要な人材確保が不可欠ですが、人流・物流ともに、担い手不足・高齢化といった問

地を結び、地域の暮らしを支えている生活パス路線については、引き続き関係自治体と連携し、バス交通の維持・活性化を図ってまいります。

一方、もう一つの地域に密着した公共交通機関であるタクシーにおいても、現在、県下6ヶ所の交通圏のうち5ヶ所において、タクシーが供給過剰となるおそれがあり、運転手の労働環境の低下につながるおそれがあります。

そのため、地域公共交通としての機能を十分に発揮することができ、法に基づいた準特定地域に指定し、タクシ事業の適正化及び活性化の推進に必要な協議を重ねてまいります。

岐阜運輸支局といたしましては、これら公共交通と各自治体で導入を進めている市町村運営バス等との適切な役割分担により、利便性の高い地域公共交通ネットワークの維持・推進を支援するとともに、地域の暮らしを支えている生活パス路線については、国が行う補助制度等も活用することにより引き続き関係自治体と連携し、地域公共交通の活性化を図ってまいります。

また、地域の活性化と豊かな暮らしの実現に向け、「地域の公共交通ネットワークの再構築」を柱とした支援制度の活用も含め、地域公共交通の活性化に

岐阜運輸支局といたしましては、これら公共交通と各自治体で導入を進めている市町村運営バス等との適切な役割分担により、利便性の高い地域公共交通ネットワークの維持・推進を支援するとともに、地域の暮らしを支えている生活パス路線については、国が行う補助制度等も活用することにより引き続き関係自治体と連携し、地域公共交通の活性化を図ってまいります。

な課題の一つです。近年においては、平成28年に発生した軽井沢スキーバス事故を契機とし、貸切バス分野に、国民の皆様の大きな関心が集まっていると認識しております。

岐阜運輸支局では、このような悲惨な事故を二度と起こさないという強い決意のもと、これからの貸切バスの安全運行に関する総合的な対策を進めてまいります。

また、近年交通空白地域などでの足として期待され、開発が進められている自動運転などの新技術についても、その運用も含め国民の皆様が安心して利用いただける安全性の確保が重要です。現在、様々な実証実験が行われておりますが、車両技術の開発状況に

対応してまいります。また、近年交通空白地域などでの足として期待され、開発が進められている自動運転などの新技術についても、その運用も含め国民の皆様が安心して利用いただける安全性の確保が重要です。現在、様々な実証実験が行われておりますが、車両技術の開発状況に

対応してまいります。また、近年交通空白地域などでの足として期待され、開発が進められている自動運転などの新技術についても、その運用も含め国民の皆様が安心して利用いただける安全性の確保が重要です。現在、様々な実証実験が行われておりますが、車両技術の開発状況に

対応してまいります。また、近年交通空白地域などでの足として期待され、開発が進められている自動運転などの新技術についても、その運用も含め国民の皆様が安心して利用いただける安全性の確保が重要です。現在、様々な実証実験が行われておりますが、車両技術の開発状況に

めにも、中・小規模貸切バス事業者に対し新ガイドラインに基づき、経営トップ層に対し、テロや感染症への対応の重要性を啓発するほか、運輸安全マネジメント評価等を通じて、中小規模事業者への制度の浸透を目指した取組を進めてまいります。

貸切バス分野については、平成28年に成立した「改正道路運送法」に基づき、監査機能の強化、巡回指導を実施する適正化実施機関の設立などが進んでおります。

中部5県では、すでに「一般財団法人 中部貸切バス適正化センター」が適正化機関として業務を開始しており、岐阜運輸支局においても同センターと連携を取りながら、効率的な指導・監査を進め、貸切バス事業者の安全性を担保してまいります。

自動車登録・検査・整備分野については、登録業務や継続検査におけるOSS導入促進による利便性の向上、運輸局職員による学校訪問などを通じた自動車整備業の担い手確保など、自動車全般の基盤となる分野として、安定的に業務を実施で

岐阜運輸支局では、従来から行っている県下の高校や大学等に直接働きかけていく取組の他、バス運転体験会等、業界団体やハローワークなどの関係機関と連携した取組によって、業界の職場の魅力・環境を周知する取組を通じてイメージを向上することにより、女性を含めた担い手の裾野を拡大してまいります。

一方、生産性向上に向けた取組環境の改善は物流業界の維持、人材確保における大きな課題の一つです。岐阜運輸支局として

は、引き続き岐阜県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」等の場において、関係行政機関、運送事業者、荷主等関係各者の調整等を通じて、取引環境の改善に向けた取組を着実に進めてまいります。

高年齢者の免許返納が推進される中で、自家用車に変わる足の確保が重要となっております。が、乗合バスにおいては、運転士不足により路線の撤退、コミュニティバスでは受託事業者の不在などの事態に陥っております。

また、現代において物流分野の活性化は全産業活動の維持・強化のためには欠かせないものとなっております。が、物流分野においても、担い手の不足・高齢化が深刻化してまいります。

岐阜運輸支局では、従来から行っている県下の高校や大学等に直接働きかけていく取組の他、バス運転体験会等、業界団体やハローワークなどの関係機関と連携した取組によって、業界の職場の魅力・環境を周知する取組を通じてイメージを向上することにより、女性を含めた担い手の裾野を拡大してまいります。

また、昇龍道エリアにおいては、平成31年に1、100万人泊という新たな目標を設定しました。岐阜運輸支局では、

岐阜運輸支局として

は、引き続き岐阜県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」等の場において、関係行政機関、運送事業者、荷主等関係各者の調整等を通じて、取引環境の改善に向けた取組を着実に進めてまいります。

高年齢者の免許返納が推進される中で、自家用車に変わる足の確保が重要となっております。が、乗合バスにおいては、運転士不足により路線の撤退、コミュニティバスでは受託事業者の不在などの事態に陥っております。

また、現代において物流分野の活性化は全産業活動の維持・強化のためには欠かせないものとなっております。が、物流分野においても、担い手の不足・高齢化が深刻化してまいります。

岐阜運輸支局では、従来から行っている県下の高校や大学等に直接働きかけていく取組の他、バス運転体験会等、業界団体やハローワークなどの関係機関と連携した取組によって、業界の職場の魅力・環境を周知する取組を通じてイメージを向上することにより、女性を含めた担い手の裾野を拡大してまいります。

また、昇龍道エリアにおいては、平成31年に1、100万人泊という新たな目標を設定しました。岐阜運輸支局では、

岐阜運輸支局として

は、引き続き岐阜県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」等の場において、関係行政機関、運送事業者、荷主等関係各者の調整等を通じて、取引環境の改善に向けた取組を着実に進めてまいります。

高年齢者の免許返納が推進される中で、自家用車に変わる足の確保が重要となっております。が、乗合バスにおいては、運転士不足により路線の撤退、コミュニティバスでは受託事業者の不在などの事態に陥っております。

また、現代において物流分野の活性化は全産業活動の維持・強化のためには欠かせないものとなっております。が、物流分野においても、担い手の不足・高齢化が深刻化してまいります。

岐阜運輸支局では、従来から行っている県下の高校や大学等に直接働きかけていく取組の他、バス運転体験会等、業界団体やハローワークなどの関係機関と連携した取組によって、業界の職場の魅力・環境を周知する取組を通じてイメージを向上することにより、女性を含めた担い手の裾野を拡大してまいります。

また、昇龍道エリアにおいては、平成31年に1、100万人泊という新たな目標を設定しました。岐阜運輸支局では、

岐阜運輸支局として



1. 地域公共交通の活性化・地域のぎわい増進

中部運輸局においては、昨年11月に「中部運輸局人材確保・育成対策推進本部」を立ち上げたところであり、各事業分野の取組の情報共有や他省庁の取組なども踏まえ、分野毎の状況に応じた対策を検討し、運輸局所管業種全般の人材確保対策を進めているところで

2. 輸送の安全・安心の確保

国民の「安全・安心」の確保は、行政機関に課せられた使命であり、輸送における安全・安心の確保のためには、岐阜運輸支局においても最も重要な課題の一つです。

3. 産業活動に不可欠な物流の確保

岐阜運輸支局では、高年齢者の免許返納が推進される中で、自家用車に変わる足の確保が重要となっております。

4. インバウンドを中心とした観光振興

昨年の訪日外国人旅行者数は、11月には1年ぶりに400万人を突破するなど、順調な増加が続いてい

5. 防災・危機管理

中部運輸局管内は、広範囲に渡り南海トラフ巨大地震の震源想定域に面しているため、防災時には国民生活や経済活動に深刻な影響を与えることが懸念されます。



(裏面に続く)

(表面より)

岐阜運輸支局として、災害・事件、事故が発生した際に、迅速かつ的確に応急対応を実施できるよう、地震などを想定した実践的な防災訓練を実施しており、今後も引き続き応急時の体制整備に努めてまいります。

また、岐阜運輸支局の体制整備とともに、関係事業者への連絡体制の確保を進めてまいります。

さらには、発災後の応急・復旧期における対応の迅速化に向け、県と物流関係団体との間で締結されている「災害時支援協定」を踏まえ、引き続き同協定が実効的なものとなるよう議論・訓練などを積極的に推進してまいります。

結びにあたり、これから岐阜運輸支局の施策につきまして皆様のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が一般社団法人岐阜県自動車会議所及び会員の皆様にとりまして、輝かしい良き年となりますよう心から祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

健全なクルマ社会の発展を目指して

一般社団法人岐阜県自動車会議所会長 岸野 吉晃



新年明けましておめでとうございます。平成30年の輝かしい新年を迎え、謹んでお喜びを申し上げます。

平素は、岐阜県自動車会議所の事業活動にご支援を賜り、また、「ぎふけん自動車会議所だより」をご愛読賜りまして、厚く御礼申し上げます。

I 昨年を振り返り

昨年を振り返ってみますと、一昨年の熊本・大分地震も癒えぬ中で発生しました九州北部豪雨や岐阜県を襲った台風8号、超大型と言われた台風21号による豪雨災害等によ

り大きな被害が発生し心を痛めました。また、北朝鮮の核開発や弾道ミサイルの発射で世界情勢も不安定さを増し、国内では、優良大企業の不正が多発発覚するなど先行きに不安を残す暗いニュースが多い1年でした。

一方、陸上桐生選手の100m日本人初の9秒台、大相撲稀勢の里の19年ぶり日本人横綱、将棋界愛知県出身の藤井聡太四段の最多連勝記録30年ぶり更新が少しの明るさをもたらしてくれました。

日本経済に目を向けると、企業活動が活発化し、国民総生産が増えたことによる企業決算の好調で日経平均株価が2万2千円を付けるなど景気は緩やかに回復基調が続いていると言われますが、家庭消費は伸びておらず不安を残しております。

このような中、自動車販売については、登録車、軽自動車とも一昨年末から好調が続いておりましたが、登録車が7月から前年を割り、加えてメーカーの無資格者が行う完成車検査の不祥事により大きな落ち込みに見せ、軽自動車の好調が際立つ結果となりました。

運輸業界におきましては、貸切バスの重大事故を契機とした新たな仕組みへの対応や運転者不足、労働時間遵守、適正運賃の収受などの課題に取り組む1年でした。

整備事業におきましては、前年から好調であった継続検査台数が9月から前年割れするなど先行きに不安を残しております。また、4月から始まりましたOSへの対応も進まず、人材不足、新技術への対応等と併せて課題を残しております。

当会議所の各事業におきましては、着実に計画を実施しております。交通安全対策においては、各季の交通安全運動中、高速道路、ショッピングモールでの啓発活動を展開しました。また、自治体と連携しイベント会場の事故防止啓発活動を実施しました。その甲斐あってか、関係機関、関係団体等のご努力により一昨年に続き「年間事故死者1000人以下」を達成し、第10次県交通安全計画の目標である2020年まで死者数80人以下、死者数9千人以下とする目標の達成も視野に入っております。

交通環境改善対策においては、運輸事業者と共働で「エコドライブ」「アイドリングストップ」の推進を積極的に広報しました。

II 新年に向け

政府の進める働き方改革により長時間労働の是正が求められ、人手不足も加わり自動車関連事業においては、難しい事業運営が求められます。

本年の自動車関連業界の動向につきましては、国内自動車販売では、2年ぶりの東京、名古屋、大阪モーターショーの開催、メーカー

自動車検査問題の影響が不透明であるものの、回復に向かうことを期待しております。運輸業界では、バス、トラック事業においては、インバウンドをはじめ高速路線の好調と企業活動の活性化に寄与し、物流が活性化し需要が拡大しております。

一方、タクシー事業においては、年々需要が減少しており活性化が求められております。また、最近の原油高も不安材料であります。運輸の根幹である輸送の安心心の確保を最優先に諸課題への対応が求められます。

III 結びに

皆様のご理解とご支援を得て各課題に向けて邁進していく所存でありますので、昨年にも増してご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。本年が皆様にとって幸多い年でありまして、新年のご挨拶といたします。

皆様のご理解とご支援を得て各課題に向けて邁進していく所存でありますので、昨年にも増してご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。本年が皆様にとって幸多い年でありまして、新年のご挨拶といたします。

Let's stop idling for the future.

みんな!未来のために、アイドリングストップ、エコ運転しようよ!



岐阜県自動車会議所では今年も年間を通して、様々なイベントで交通安全等の啓発活動を予定しています。昨年に続き、好評だった反射材入りグッズも配布予定しているため是非立ち寄ってみてください。



整備業界では、引き続き人材確保の取り組みを進めるとともに、OSを活用した事業の効率化を進めるなど事業基盤を安定させる必要が求められます。加えて、高度な電子制御装置を搭載したEV、予防安全技術等新技術を見据えた対応が求められます。

このように、業界を取り巻く環境は厳しいものがありますが、当会議所といたしましては、関係行政機関、関係団体等と連携し、各事業を進めてまいります。

公益目的事業として交通安全対策、交通環境改善対策につきましては、引き続き啓発活動を積極的に推進し、歴史ある「岐阜県

主要事業であり、関係行政機関、関係団体等と連携し、各事業を進めてまいります。また、「東京オリンピック」や「東京オリンピック」や「東京オリンピック」の正副賞として、東濃地方で進められている岐阜県初のご当地ナンバー導入